

事例 No.	61	人口規模	10万人以上	地域ブロック	関東	事業タイプ		拠点整備		事業主体	地方公共団体
事業名	小学生のための放課後対策事業「子どもスキップ」										
実施地方公共団体名	豊島区(東京都)										
特徴・ポイント	学校の教室を拠点とし、校庭や体育館を活動場所として活用して実施する。										
事業のねらいと内容	<p>【ねらい】 ・子ども相互の関係をひろげる交流の場の確保 ・安全、安心な放課後の遊び場の確保 ・「地域子ども懇談会」を組織し、地域で子どもを見守る拠点を築く</p> <p>【内容】 小学校施設を活用して、小学生を対象とする育成事業と学童クラブを総合的に展開。 17年からは文部科学省の委託事業「地域子ども教室」を実施。19年度からは「放課後子ども教室」</p>										
導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化、公園等の治安の悪化、放課後の時間の多様化により子どもたちを取り巻く環境の変化 ・児童館を含む「公共施設の再構築」 					導入・実施に際して苦労した点					
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・17年、18年2年間にわたり、実施校、保護者と児童、地域住民にアンケートを実施。議会で報告。一定の評価を得る。 					実施にあたってのネックをどのように解決したか 運営にあたり、臨時職員の確保 区ホームページへ募集の掲載 運営の方法を構築するための手法 開設施設の所長と月1回のミーティングを実施。検証をかさね課題解決に努め、マニュアル等を作成した。 施設改修経費、開設準備経費 財政課とのヒアリングで事業効果アピール。2年間にわたり利用者アンケートを実施、議会で報告。一定の評価を得る。					
事業のアピールをどのように行ったか	<ul style="list-style-type: none"> ・地域別説明会の実施(ビデオ上映) ・保育園にて説明会 ・豊島テレビで放映 ・公式ホームページ掲載 ・教育委員会学校説明会にて周知 ・NHK、読売TVで放映(政府広報番組) 										
必要な協力先・実施主体とその確保策	(必要な協力先) <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会、学校 ・青少年育成委員会、町会、PTA関係 (確保策) 計画段階での説明、事業への理解をお願いする。					学校との連携 実施校長連絡会を教育委員会と共催で実施。問題点と課題解決に努めている。					
概算事業費 (千円/年度) 平成18年度予算	191,630千円 <内訳> 都道府県補助金: 60,000千円 一般会計: 111,547千円 その他: 20,083千円(具体的名称: 学童クラブ利用料、次世代育成支援交付金ほか)					問い合わせ先		所属部署: 豊島区子ども家庭部子ども課 TEL: 03-3981-1058 03-3981-2049 FAX: 03-5391-1400			